

# 株主通信

第18期 中間

2023年4月1日～2023年9月30日

## 目次

---

- P1 株主のみなさまへ
- P2 株主還元
- P3 TOPICS
- P5 財務ハイライト
- P6 財務情報
- 裏表紙 ラジオ体操の普及促進  
車いすテニスのジュニア選手を世界の舞台へ！



株主のみなさまへ

平素より株式会社かんぽ生命保険に格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

世界的なインフレの高進と中央銀行による金融引き締め、為替の変動など、当社を取り巻く経営環境は大きく変化しています。このような状況下において、2023年度中間期の連結純利益は504億円となりました。

なお、中間配当金は、計画通り1株当たり47円とし、期末配当金を含む2023年度の年間配当予想は前年度より2円増配となる1株当たり94円となります。

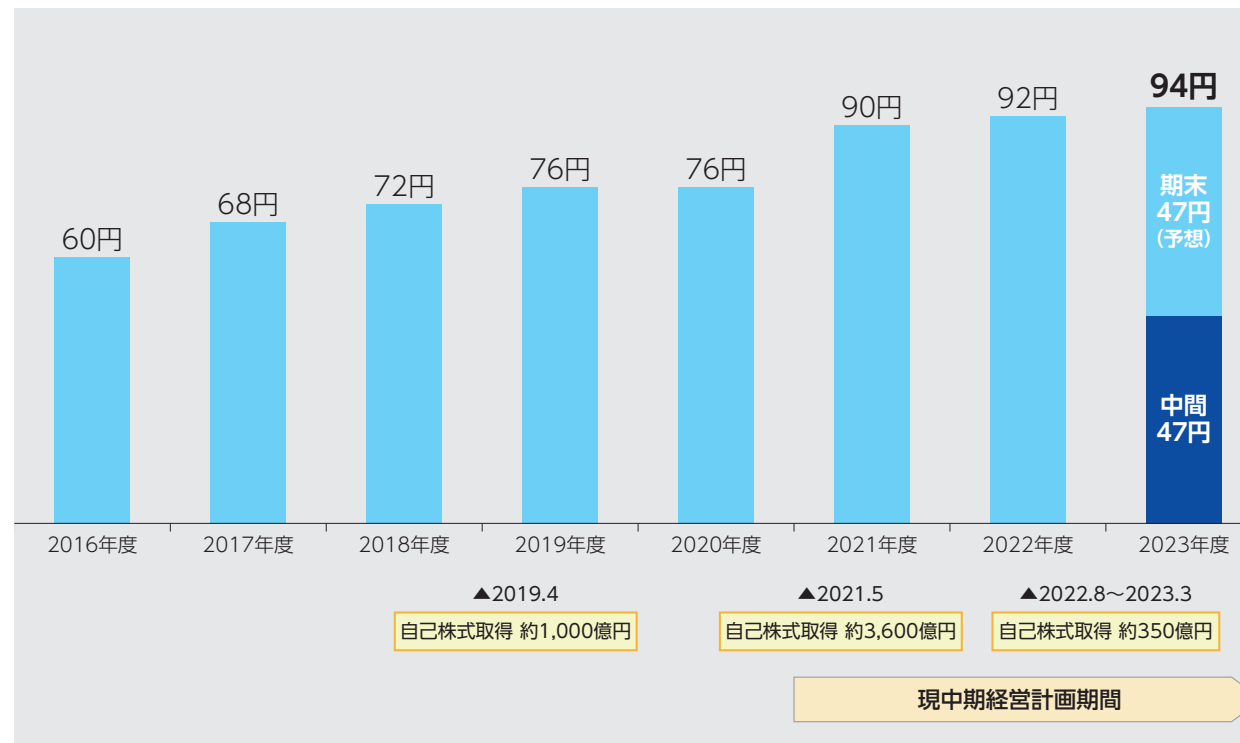
すべてのステークホルダーの思いをしっかりと受け止め、その期待に応えられるよう、変化に満ちた時代に対応する柔軟さと、変わらぬ熱意を持って邁進してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

取締役兼代表執行役社長

高垣 邦夫

2023年11月13日開催の取締役会において、1株当たり47円の間配当金を支払うことを決議しましたので、お知らせします。



| 総還元性向 |       |        |       |        |       |       | 配当性向       |
|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|------------|
| 40.6% | 39.0% | 118.9% | 28.4% | 241.8% | 44.9% | 36.4% | 50.0% (予想) |

中期経営計画における株主還元方針

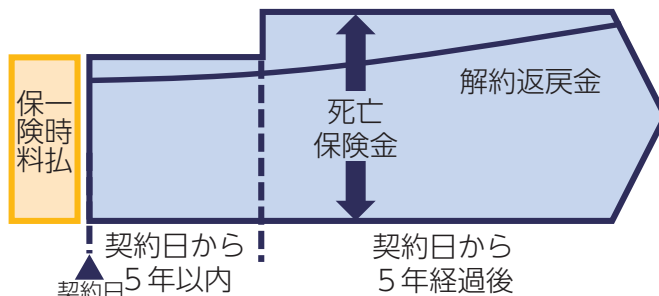
今後の利益見通し、財務の健全性を考慮しつつ、1株当たり配当額について、2025年度までの中期経営計画期間中においては原則として減配を行わず、増配を目指してまいります。

さらに、株主のみなさまに対する柔軟な利益還元を図ること等を目的として、機動的な自己株式取得等を行うことで、総還元性向について中期平均40~50%を目指してまいります。

## 一時払終身保険の創設

当社は、中高年齢層のお客さまに払い込んだ保険料以上の死亡保障を一生にわたって提供し、自身に万が一のことがあった際の葬儀費用や遺族の生活資金等の現金を速やかに確保したいというニーズにお応えできるよう、新たに保険料の払い込みを一時払とする普通終身保険（一時払終身保険）を創設します。本商品は、2024年1月以降の販売に向けて、現在準備を進めています。

### 一時払終身保険の商品概要



- 健康状態にかかわらず、**どなたでもご加入**することができます。
- ご自身に万が一のことがあった際は、**払い込んだ一時払保険料以上の死亡保険金をお支払い**します。

総合医療特約を付加することも可能

\* 総合医療特約は健康状態の告知が必要です  
\* 特約の保険料は月々お支払いいただきます

## お客さまへの手話通訳サービスの開始

株式会社プラスヴォイス（宮城県仙台市、代表取締役 三浦宏之、以下「プラスヴォイス」）と業務提携し、2023年7月より新サービス「手話通訳サービス」を開始しました。

本サービスの導入により、耳や言葉の不自由なお客さまがビデオ通話を通して、手話や筆談で当社コールセンターへお問い合わせいただくことが可能となりました。

当社の「手話通訳サービス」のWEBサイトにアクセスし、通訳オペレーターをお呼びいただくと、プラスヴォイスが運営する通訳コールセンターに接続し、インターネット回線を使用したビデオ通話を通じて、お問い合わせを手話や筆談で受付します。

お客さまのお申し出内容は、当社コールセンターへリアルタイムで音声通訳され、回答も通訳コールセンターを通じて手話や筆談でお客さまにお伝えします。



## 環境保護への貢献

当社では、優先的に取り組む社会課題（マテリアリティ）の1つに掲げている「環境保護への貢献」の取り組みとして、これまでの気候変動対応に加え、昨今グローバルな重要課題となっている自然環境や生態系の保護（生物多様性の保全）に向けた取り組みを進めています。

### 自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）提言への対応

TNFDは、自然資本に関する事業の機会とリスクを適切に評価し、開示するための枠組みを構築する国際的なイニシアチブであり、2023年9月に最終提言を公表しました。当社はTNFDの理念に賛同し、2023年6月に、その活動をサポートするTNFDフォーラムへ参加しています。今後、TNFD提言の枠組みに沿って、自然資本および生物多様性に関する分析および情報開示を進めていきます。



### 生物多様性の保全に向けた投融資の促進

当社は機関投資家として、投融資先の事業活動等を通じて自然との関わりを持っています。自然関連課題の投資判断への組み込みや、投融資先に対するエンゲージメント、ESGテーマ投資等を通じ、生物多様性の保全に向けた投融資を促進していきます。

### ESGテーマ投資事例 インドネシア共和国が発行したブルーボンドへの投資

2023年5月に、当社にとって初めてのブルーボンド\*への投資として、世界最大の島しょ国であるインドネシア共和国が発行したブルーボンドへの投資を実施しました。

本債券発行によって調達された資金は、インドネシア政府の定めるブルーエコノミーの発展に貢献するプロジェクトに充当されます。

\* 海洋環境の改善・保全や持続可能な漁業、海洋汚染防止など、水環境が関係する事業に資金使途が限られた債券



### サステナビリティサイトのご案内

当社のサステナビリティに関する考えや各領域における活動報告など、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを発信しています。

<https://www.jp-life.japanpost.jp/aboutus/sustainability/index.html>

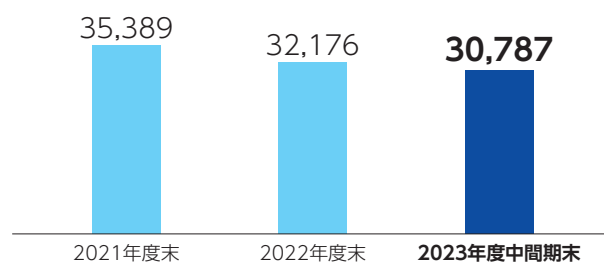




## 財務ハイライト

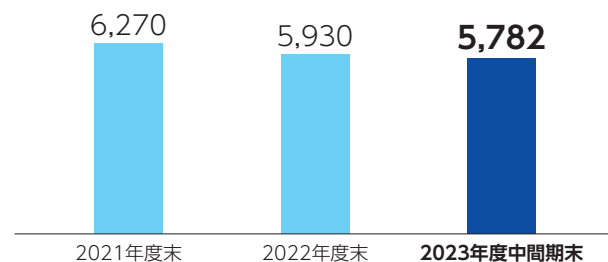
### 保有契約年換算保険料(個人保険)<sup>※1</sup>

(単位：億円)



### 保有契約年換算保険料(第三分野)<sup>※2,3</sup>

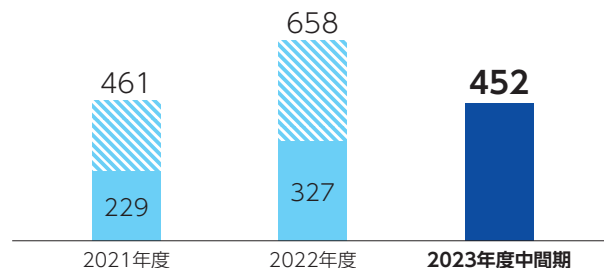
(単位：億円)



### 新契約年換算保険料(個人保険)

■通期 ■中間期 ■2023年度中間期

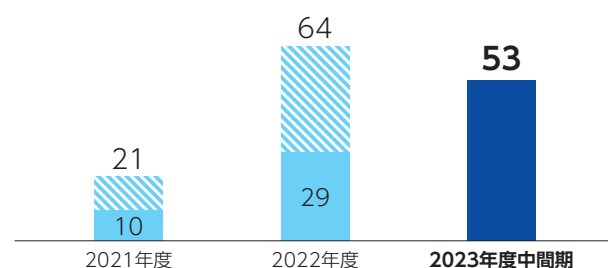
(単位：億円)



### 新契約年換算保険料(第三分野)<sup>※2</sup>

■通期 ■中間期 ■2023年度中間期

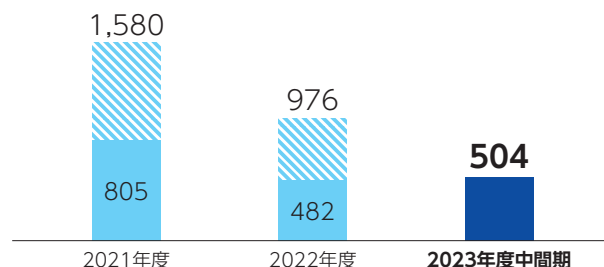
(単位：億円)



### 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

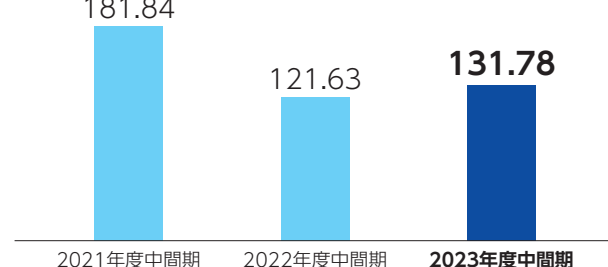
■通期 ■中間期 ■2023年度中間期

(単位：億円)



### 1株当たり中間純利益

(単位：円)



※1 独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構から受再している簡易生命保険契約(保険)を含みます。

※2 「第三分野」は、医療保障給付(入院給付、手術給付等)に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

※3 独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構から受再している簡易生命保険契約を含みます。

## 財務情報

### 連結損益計算書(要旨)<sup>※1</sup>

(単位：億円)

| 科目                       | 2022年度中間期     | 2023年度中間期     | 増減         |
|--------------------------|---------------|---------------|------------|
| <b>経常収益</b>              | <b>32,024</b> | <b>31,139</b> | △ 884      |
| 保険料等収入                   | 11,514        | 10,969        | △ 545      |
| 資産運用収益                   | 5,561         | 6,194         | 632        |
| 責任準備金戻入額                 | 14,926        | 13,731        | △ 1,194    |
| <b>経常費用</b>              | <b>31,679</b> | <b>30,146</b> | △ 1,532    |
| 保険金等支払金                  | 27,691        | 26,183        | △ 1,508    |
| 資産運用費用                   | 1,170         | 1,421         | 251        |
| 事業費等 <sup>※2</sup>       | 2,595         | 2,541         | △ 54       |
| <b>経常利益</b>              | <b>345</b>    | <b>993</b>    | <b>647</b> |
| 特別損益                     | 812           | 70            | △ 742      |
| 価格変動準備金戻入額 <sup>※3</sup> | 814           | 70            | △ 743      |
| 契約者配当準備金繰入額              | 271           | 344           | 72         |
| 法人税等合計                   | 403           | 214           | △ 188      |
| <b>親会社株主に帰属する中間純利益</b>   | <b>482</b>    | <b>504</b>    | <b>21</b>  |

※1 主な勘定科目を掲載しています。

※2 事業費とその他経常費用の合計です。

※3 符号がプラスの場合は戻入を、マイナス(△)の場合は繰入を示します。

### その他情報

|                                   | 2022年度末 | 2023年度中間期末 | 増減       |
|-----------------------------------|---------|------------|----------|
| 純資産 (億円)                          | 23,753  | 26,813     | 3,059    |
| 総資産 (億円)                          | 626,873 | 615,854    | △ 11,019 |
| 連結ソルベンシー・マージン比率 <sup>※4</sup> (%) | 1,009.1 | 1,024.1    | 15.0     |

※4 連結ソルベンシー・マージン比率は、保険会社の健全性を示す行政監督上の指標の1つです。監督当局による早期是正措置の対象となる200%を大きく上回る高い水準を維持しています。

## ラジオ体操の普及促進



「1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」は国内最大級のラジオ体操イベントとして、1,000万人にもおよぶ人々に、ラジオやテレビを通じて、一斉にラジオ体操およびみんなの体操を行ってもらうという趣旨で1962年から毎年実施しています。

2023年8月20日（日）に「第62回1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」を神奈川県横浜市の赤レンガパークで開催しました。事前応募いただいたみなさまと、晴れやかな空の下、元気にラジオ体操を行いました。

## 車いすテニスのジュニア選手を世界の舞台へ！

### ～「かんぽ生命presents 次世代特別強化支援プロジェクト」の実施～

当社は、一般社団法人日本車いすテニス協会とともに、車いすテニスのジュニア選手を海外で開催される大会へ派遣し、世界に通じるトップアスリート育成を目指すプロジェクトを開始しました。

本プロジェクトでは、今年度より「KAMPO JUNIOR OPEN 2023」を新たに開催し、この大会結果に加え、国際テニス連盟のランキングを考慮して選手を選考し、高校1年生の2名の選手が世界の舞台にチャレンジすることとなりました。（12月にトルコで開催される大会に出場予定）



◀ 派遣選手  
（左）橘選手、  
（右）矢野選手

今後も、ジュニア選手の育成等を通じた車いすテニスの支援を行うことで、あらゆる人が自分らしく活躍できる社会の実現に貢献してまいります。



▲ KAMPO JUNIOR OPEN 2023 (2023年8月開催)